

仮設鋼材損料計算書

(1) 鋼矢板損料算定計算書

リスト	矢板の名称	形状	施工延長 (m)	最大スパン長 (m)	使用回数 (N)	矢板種類 (矢板幅)	1枚当たり 矢板長 (m)	矢板枚数 (枚)	損料条件 (日以内)	m当り重量 (t/m)	使用矢板重 量 (t)	供用日数 (a)	使用賃料 (t/日)	1現場当たり修 理費及び損耗 量 (c)	補正率 (N+1)/2	損料金額 (F)
	軽量鋼矢板Ⅱ型	250×2.5×36h	45.80m	8.00	6	0.250	2.0	64	90	0.0148	1.894	7	110	5,500	3.50	38,010
合計											1.894	7.4425				38,010

(2) 切梁・腹起こし材等の鋼材損料算定根拠

リスト	名称	形状	支保段数 (段)	用途	使用数量 (n)	単位	単位重量 (t/mor枚)	重量 (t)	損料条件 (日以内)	基本料金 本/日・枚/日 m <sup>2</sup> /日	使用損料	供用日・月 数 (日・月)	使用賃料 (a)	基本料 (b)	損料合計 (a)+(b)*n	
				面積m <sup>2</sup>												
支保及び受桁	7M水圧サート	1100×1800 標準型	1	支保	2	本				103.0	206	2	412	800	2,012	
	7M製腹起し	110-120-4000	1		2	本				43.5	87	2	174	500	1,174	
	手動式水圧ポンプ	タンク容量15-19L			1	台				154.0	154	2	308	500	808	
リスト	名称	形状	支保段数 (段)	用途 面積m <sup>2</sup>	使用数量	単位	単位重量 (t/mor枚)	重量 (t)	損料条件 (日以内)	基本料金 t/日・枚/日 m <sup>2</sup> /日	使用損料	供用日・月 数 (日・月)	使用賃料 (a)	1現場当たり修 理費及び損耗 単価 (c)	1現場当たり修 理費及び損耗 量 (b)	損料合計 (a)+(b)
仮設 鋼材																
合計																3,994

※腹起し、切梁、は日あたり損料。覆工板は月あたり損料。  
※敷き鉄板損料は「建設物価-仮設鋼材賃料金」参照。

損料合計額  
42,004

数値根拠										
矢板2.0m	施工延長	8.0+6.0+3.8+8.0+6.0+8.0+6.0			45.80m	施工延長				
	1箇所あたり 最大スパン	8.0m				矢板2.5m	1箇所あたり 最大スパン			
	転用回数					転用回数				
供用日数	45.80m/日進量8.0m $\div$ 5.73日 $\times$ 不稼働率(1.3)			7日	供用日数					
矢板3.0m	施工延長					施工延長				
	1箇所あたり 最大スパン					矢板3.5m	1箇所あたり 最大スパン			
	転用回数					転用回数				
供用日数					供用日数					